

平成28年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	130,805,485円 ※平成24・25年度 127,172,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	17,819 573	11,988 283	18,535 604	11,284 286	18,254 591
開所日数(単位:日)	161	137	162	136	162
団体利用可能日数(単位:日) ※1	160	133	162	132	162
団体利用実績日数(単位:日)	160	128	162	128	161
施設稼働状況(単位:%) ※2	100.0	96.2	100.0	97.0	99.4

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受け入れ事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業 ○下記自主事業を実施 ①「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」 ②「三輪北夏祭り」への事業協力(地元への事業協力)	○受け入れ事業 ※カッコ内は対前年度比 ・558団体16,745人を受け入れ(31団体671人減) ○主催事業 ※カッコ内は対前年度比 ①3事業4回に100家族335人が参加(19家族36人増) ②2事業2回に97人が参加(1事業1回40人増) ③3月に1事業実施予定 ○自主事業 ①児童生徒157人(11人増)・スタッフ65人(5人増)が参加 ②自然の家コーナーに232人が参加

<p>指定事業 自主事業</p>	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「学校指導者研修会」</p> <p>②「青少年団体指導者研修会」</p> <p>③「川下り研修会」</p> <p>④「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>⑤出前講座の実施</p> <p>⑥自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>○研修・啓発事業 ※カッコ内は対前年度比</p> <p>①1事業2回に107校165人が参加(2校増49人減)</p> <p>②1事業2回に17 団体99人が参加(1団体減15人減)</p> <p>③1事業2回に8団体111人が参加(4団体77人減)</p> <p>④1事業2回45人が参加(4人増)</p> <p>⑤出前講座:7回に514人が参加(92人増)</p> <p>⑥下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の家だより」「季節の散策マップ」の発行 ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿 <p>○研究・開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座用のクラフトメニューの開発 ・食事メニューの改善 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み
<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②寝具クリーニング</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施 【定期】5月・7月・9月に実施</p> <p>②6月・8月・9月に実施</p> <p>③5月・7月・9月に実施</p> <p>④8月に実施 ※ほか仕様に基づき適正に実施</p> <p>職員による施設点検(整備)</p> <p>【館内外点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 <p>【キャンプ場】【散策道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の入所前、荒天後
<p>施設修繕</p>	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊室の点検で、網戸の破損を確認 ⇒次の団体が入室する前に自前で修繕 ・キャンプ場階段の破損を確認 ⇒破損箇所を補強後、防腐剤を塗布 <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策道の整備 ・キャンプ場の整地 ・利用者用リヤカーの補修 ・ハチの巣の駆除 ・朽木の伐採
<p>危機管理・ 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 <p>②下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を適切に行っており、継続して「表示マーク(銀)」の交付を受けている。 <p>③下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 ・質問内容:「利用全般」「職員の対応」など ・「野外学習アンケート」…利用した小学校(抽出)を対象に実施 ・質問内容:自然の家の3つの願いの達成度 ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 ・質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の参加者・保護者を対象に実施 ・質問内容:事業の満足度、事後の変容など ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ①回収枚数 175枚 ②各項目の満足度・主な意見 <p>【初回利用団体】 19枚</p> <p>「利用全般」(100.0%):大変満足63.2% 満足36.8% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」(100.0%):大変満足73.7% 満足26.3% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」(100.0%):大変満足94.4% 満足 5.6% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」(100.0%):大変満足61.5% 満足38.5% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回利用団体】 156枚</p> <p>「利用全般」 (98.7%):大変満足67.6% 満足31.1% 普通 1.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」 (94.8%):大変満足61.0% 満足33.8% 普通 5.2% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」 (99.3%):大変満足81.9% 満足17.4% 普通 0.7% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」 (82.5%):大変満足51.6% 満足30.9% 普通16.7% 不満0.8% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃が行き届いており、気持ちよく過ごすことができた。 ・雨天の時、活動の変更についての助言や臨機応変な対応がありがたかった。 ・子どもの意欲を高める話をしてもらった。教員に対しても指導のポイントを教えてもらった。 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 <p>■ファミリーDAY 不思議発見！春のピクニック編(対象:家族 半日 4/16)</p> ①回収枚数 33枚 ②事業の満足度・主な意見 <p>【初回参加】 16枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足50.0% 満足50.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 17枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足58.8% 満足41.2% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しましたが、親子でとても楽しめました。 ・春の新芽や草花が、たくさん見つけられました。 <p>■ファミリーDAY 素材を生かそう！クラフト編(対象:家族 半日 7/3)</p> ①アンケート回収枚数 22枚 ②事業満足度・主な意見 <p>【初回参加】 14枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足85.7% 満足14.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 8枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足75.0% 満足25.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがボランティアスタッフや職員にほめられ、嬉しそうでした。 ・自分で意見を言うなど、子どもの普段見られない姿が見られてよかった。 ・たくさん材料で、自由に工作が楽しめ、のびのびと活動できた。 <p>■ファミリーDAY 火おこしに挑戦！野外炊事編(対象:家族 1日 2回 9/11・9/22)</p> ①アンケート回収枚数40枚 ②事業満足度・主な意見 <p>【初回参加】 28枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足78.6% 満足21.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 12枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足83.3% 満足16.7% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体となって活動することができ、達成感や満足感が味わえた。 ・普段見ることのない子どもの生き生きとした姿を見ることができた。 ・スタッフの方の目配り気配りがありがたく、家族で楽しむことができた。

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■ 自然は友だちキャンプ 飛び出せ野遊び隊(対象:子ども 1泊2日 5/21-22) ①アンケート回収枚数 50枚 ②事業満足度・主な意見 【初回参加】 38枚 「満足度」(97.4%) 大変満足84.2% 満足13.2% 普通2.6% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 12枚 「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 《主な意見》 ・ご飯を仲間と協力して作り、おいしいカレーが出来たのが思い出になった。 ・ナイトハイクで初めてホテルを見て感動した。 ・みんなが仲良くしようと言ってくれたので、嬉しかった。</p> <p>■ 自然は友だちキャンプ 探検！森遊び隊(対象:子ども 1泊2日 9/18-19) ①アンケート回収枚数 46枚 ②事業満足度・主な意見 【初回参加】 18枚 「満足度」(94.4%) 大変満足72.2% 満足22.2% 普通5.6% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 28枚 「満足度」(92.8%) 大変満足75.0% 満足17.8% 普通3.6% 不満0.0% 大変不満0.0% 《主な意見》 ・山登りで足が疲れたけど、最後まで頑張って歩けたので良かった。 ・初めてあった子どもも仲良くできたし、ナイトハイクや栗探しなどが楽しかった。 ・森の探検隊で、みんなと山を登ったり、木のブランコをするのが楽しかった。</p> <p>○ 自主事業 ・「参加者アンケート」 ■ 「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」(対象:子ども 4泊5日 8/9-13) ①アンケート回収枚数 157枚 ②事業の満足度・主な意見 今年度 wonderful 88.5% nearly wonderful 10.2% nearly so-so 0.0% so-so 1.3% (昨年度 wonderful 74.8% nearly wonderful 19.6% nearly so-so 4.2% so-so 1.4%) 《主な意見》 ・英語に対する自信がついた。 ・英語だけでなく、友だちもできて良かった。 ・将来留学してみたいと思った。 ・このキャンプを通して、一回りも二回りも成長したように感じた。(保護者) ・グループにALTと大学生がいて、サポート体制が良かった。(保護者) ・期間が長く心配したが、HPで様子がわかって安心した。(保護者)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○ 受け入れ事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ等で、施設としての考え方を説明している。 利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。 《主な意見と対応》 ・音楽室の冷房の効きが悪くて練習の際暑かった。 ⇒構造上、本館棟の3階は空調の効きが悪いため、扇風機を増設するとともに、利用者に理解を求めた。また、空調機器の改修について市と協議することとした。 ・オリエンテーリングのコースで道に迷ってしまった。もう少し分かりやすいポイントづくりや経路にしてほしい。 ⇒「道に迷う→仲間とともに乗り越える」という観点を大切にしながら、コースづくりを行っていることや、指導者の立哨場所や心構えなどを説明した。</p> <p>○ 主催事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。 事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に活かしている。 《主な意見と対応》 ・活動と活動の間の余った時間に他のことを行ってほしい。 ⇒次回事業の初めの会で、家族での会話を楽しんでいただくよう、意図的にゆとりをもったプログラムにしていることをお話した。 ・名札が漢字だと小さな子どもには分かりづらい。 ⇒次回事業から、参加者及びスタッフの名札を、ひらがな書きで分かりやすくした。 ・雨の時も野外炊事などの活動がそのままできるのかを、前もって知りたかった。 ⇒次回事業から案内文書に、炊事場などの活動場所には屋根があるという説明を、記載することとした。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	市内小中学校、市内少年団体、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	S	S
		区分評価				
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	「岐阜市少年自然の家運営方針」とおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	S	S	S
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	S	S	S
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	S	S	S
		区分評価				
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	取支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	S	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	S	S	S
		区分評価				

安定性 安全性	IV 事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力を有していること』 に対する基本的な考え方(理解度、取組 姿勢など)	職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動に 取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する 事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしてしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門 的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む) の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知 識など	小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事 資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験 が活かされているか。	A	A	A
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、 監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務し やすい職場環境ができてしているか。	A	A	A
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育 成の方策	経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基本 知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・人 権等の研修が行われているか。	A	A	A
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時 の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金 力、損害賠償能力など)	野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛 生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が確 認されているか。	A	A	A
		(8)学校及び教育委員会との連携	学校や教育委員会との連携がなされているか。	A	A	A
	区分評価					A
貢献性	V 事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」と いう。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるい は施設がある特定の地域(以下、「地元」と いう。)の振興、活性化などに貢献できるも のであること』に対する基本的な考え方(理 解度、取り組み姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献 する計画となっているか。	S	S	S
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部 業務の再委託先)	地元の法人その他の団体との連携に務めるとともに、その 育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇 用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元 の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意して いるか。	S	S	S
		(5)その他地元への貢献に関すること	地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に務め ているか。	SS	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(I-(1)-①)

- 各団体の次年度の利用日については、小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」を2回開催し、公平性・透明性の観点に十分留意しながら調整作業を進めた。

《調整作業における重点》

- 希望が集中する時期は、必要に応じ、**休所日を臨時開所**して、各団体の希望にできる限り応える。
- 各団体の主たる活動や配慮事項等を十分に把握し、**きめ細やかな調整**を図る
- 活動場所、宿泊室等の割振りは、各団体の指導者の理解を十分に得ながら調整を図ることができた。
- 各団体から当施設が直接管理運営していないスポーツ施設の利用希望があった場合も、関係機関との連絡を密に行い、円滑に調整を図ることができた。なお、**利用調整に関わる内容について、利用者から公平性・透明性を欠くといった指摘は、一切受けていない。**

(I-(1)-②)

- 主催事業の募集については、チラシやホームページ、「広報ぎふ」、ラジオ、雑誌等、各種媒体を積極的に活用し、幅広く市民に周知を図った。また、**当施設の利用者はもちろんのこと、数多く実施している出前講座などを通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行った。**

(I-(2))

・幅広い層に対応したプログラムの提供と職員の支援体制

《具体例》

- 幼児向けクラフトメニューの拡大⇒クラフトメニューの一部を幼児でもできるように改良(工程・材料など)
- 高齢者向け自然散策⇒季節に応じて野草や樹木等の資料を準備し、職員が案内をしながら散策
- 車イスでのウォークラリー⇒舗装された道路を進むコースを設定し提供
- 個別対応⇒全体の活動に怪我や病気等で参加できない方には、個別のプログラムで対応
- 事前学習(事前体験)への対応
利用当日の安心につながるよう、事前学習の希望に対し、親切・丁寧な対応に努めた。
《事前学習(事前体験)の対応例》
・「基本的な生活は、自分でできるようにしておきたい」
⇒事前:職員が手本を見せながら、手洗い・消毒、ベットメイキングなどを練習
・「屋外で車イスがどの程度使用できるか知りたい」
⇒事前:職員が案内しながら施設周辺を散策
・「幼稚園児の利用なので、少しでも施設に慣れておきたい」
⇒事前:職員とともに館内を探検する活動を体験

(I-(3))

- 次年度の呼びかけを確実にを行うため、当年度利用された団体(または利用予定の団体)及び新規に利用を希望する団体に対して、「利用希望調査報告書」(希望時期の記入用紙)を送付した。
- ホームページや館内掲示などにより、施設概要・事業内容・主催事業の募集・冬季の空室状況・自然情報等の内容をわかりやすく紹介した。
- 「自然の家だより」を定期的に発行したり、岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」へ積極的に投稿したりするなど、身近な自然や自然の家の活動への関心を高めるための情報発信に努めた。
- 「季節の散策マップ」をファミリーパーク内休憩所に設置し、公園を訪れる多くの市民に活用された。

(II-(1))

- 受け入れ事業、主催事業において、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度を把握するためのアンケート調査を実施した。
- アンケート結果は下記の通りとなっており、**各事業、各項目で大変高い達成度を得ることができた。**

《アンケート結果》

受け入れ事業:「ほほえみ」93.6% 「なかま」92.4% 「自然」88.5%
主催事業 :「ほほえみ」91.6% 「なかま」91.1% 「自然」90.1%

《参考》

- 「ほほえみ」(達成感・自己発見等)
自ら考え、工夫して活動をやりきることで、達成感や達成感を味わわせ、自主的・創造的な態度を養う。
- 「なかま」(協調性・社会性・自立性等)
一人ひとりが役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力して活動することで、仲間を思いやる態度を養う。
- 「自然」(感性・感動・畏敬等)
五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味・関心を高め、自然に親しむ態度を養う。

- 職員は活動エリアでの実地訓練やプログラム開発、動植物調査を長期にわたり継続して行っており、「利用者アンケート」などで、下記の内容が充実しているとの声を多数いただいた。

- ・周辺自然环境を活かしたプログラム
- ・周辺自然环境と活動内容から予見されるリスク対応
- ・周辺自然情報の発信

今期の取組み
に対する評価

(II-(2))

- ・主催事業では、PDCAサイクルを推進するとともに下記の取組みの成果を生かしながら、**すべての事業でプログラムの改善を図った**。結果、今期実施した**主催事業における事業満足度**(全事業の平均)は、**98.4%**となっており、**参加者から大変高い満足度を得ることができた**。

(※各事業の事業満足度については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)

《プログラムの改善に関わる取組み》

- ・自主的な「プログラム開発研修」の実施
- ・プログラムの改善に役立つ各種研修会への参加
- ・動植物調査等、全職員が年間を通して取り組む「自己課題」の推進
- ・自主事業「**イングリッシュ・キャンプ in GIFU**」では、**定員を増加するとともに、昨年度の反省を生かし、活動プログラムや、指導・支援の在り方などを精査・改善することで、大きな成果を上げることができた**。(※参加者の具体的な声については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)

(II-(4))

- ・すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・支援を行っており、特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。
- ・天候の急変、サル・イノシシの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。
- ・急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整を図り、適切に職員を配置した。
- ・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めた。
- ・上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「**指導・支援体制が充実している**」、「**指導・支援の在り方が適切である**」といった内容が**大変多く見られた**。(「職員の対応」の満足度**99.4%**)
(※利用者の具体的な声については、「利用者アンケートの実施結果」に記載)
- ・宿泊学習への対応と並行し、遠足、社会見学等で岐阜ファミリーパークを訪れる団体に対しても、当施設のプログラムを提供し、積極的に指導・支援を行った。
- ・出前講座の依頼に対し、**参加者数、活動内容などを踏まえ、適切な人員を派遣した**。

(III-(5))

- ・業務要求水準の例に示された電子メール等、電子媒体の活用については、特に「自然の家だより」の発行や「ぎふネイチャーネット」への投稿など、自然情報の発信において、積極的に実践した。
- ・**比較的大規模な内容も含め、多岐にわたる作業を自前で実施し、大幅に経費を縮減した**。

《自前での作業例》

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| ・散策道の整備 | ・キャンプ場の整地 | ・キャンプ場階段の補修 |
| ・ハチの巣の駆除 | ・朽木の伐採 | ・宿泊室の網戸の修繕 |
| ・木材の調達 | ・教材の準備、加工 | ・パンフレット等の印刷、製本 |
| ・利用者リヤカーの補修 | | |

- ・消灯チェックなどの館内巡回を強化し、電気代の縮減に努めた。

(IV-(2))

- ・当事業団で毎月開催している施設長会を通して、関連施設(ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター等)の管理実績を参考にしながら、施設運営を行った。
- ・5月に体育館、公園管理者との三者会議を実施し、公園全体の課題や各施設の経費縮減に対する取組み、利用者増の方策などについて、意見交流を行った。
- ・国立乗鞍青少年交流の家主催事業「アドベンチャーキャンプinGIFU」への事業協力を通して、**互いの施設の運営について、積極的に意見交流を図ることができた**。

(IV-(4))

- ・当事業団は、昭和63年の設立以来、赤字決算は一度もない。
- ・設立以来、継続して、当施設の管理受託者・指定管理者として業務を行っている。
- ・公益財団法人として、「公益目的事業を行うのに必要な経理的基礎と技術的能力を有している」との公益認定を受けている。
- ・公益財団法人の認定基準(①公益性 ②ガバナンス)を満たすとともに、法人情報の開示及び行政庁(岐阜県)の立入検査等により、事業運営の透明性・適正性を確保している。・物的能力、人的能力、専門的能力については、下記の理由から十分に有していると捉えている。

《物的能力》

- ・寝具、食器、机等、館内で日常的に使用する備品については、最大定員(宿泊棟324人)に常に対応できるよう、予備も含め、計画的に購入(または交換、修繕)している。また、野外炊事、テント設営、クラフト等、各種体験活動に使用する備品については、複数の団体が同時に使用すること、団体への対応と並行して主催事業や事業協力、出前講座などを行うことを想定し、十分な個数・量を維持管理している。結果、**物的能力に関わる「利用者アンケート」の項目「施設・設備」で大変高い評価(満足度95.4%)を得た**。

《人的能力》

- ・施設の効用(設置目的)を最大限発揮するため、**経験豊富な職員を多数配置し(15名中9名が5年以上の実務経験者)**、(II-(4))に記載した取組みを着実にやっている。結果、「利用者アンケート」では、「どの活動も準備がしっかりできている」、「計画変更等、急な依頼にも対応が迅速」など、人的能力を高く評価する意見・感想が多数見られた。

《専門的能力》

- ・(IV-(4))に記載した専門的能力を有しており、「利用者アンケート」では、**専門的能力に関わる項目「職員の対応」で大変高い評価(満足度99.4%)を得ており、「子どもたちを惹きつけ、説明がとてわかりやすい」、「指導者へのアドバイスが的確」などの意見・感想が多数見られた**。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(V-(1))</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の英語教育に寄与するため、「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」(市教委との共催)を実施し、当施設のノウハウを最大限発揮した。 「ぎふサイエンス・キャンプ」(市教委主催)の受け入れを行い、「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営ノウハウを、市教委に伝えるとともに綿密に連携して市の理数科教育に寄与した。 「コンパスキューブ」の考え方にに基づき、コンテンツ・パッション・スキルをバランスよく大きくするため、「アクティブラーニング」の充実を念頭に置いた、受入事業、主催事業等を行った。 <p>(V-(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設のある三輪地区では、特に下記の取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 「三輪北夏祭り」への事業協力 「メガソーラーや石田川を活用した環境学習プログラムの推進」 「公民館等への自然情報の提供」 市内小学校や子ども会などに対して、積極的に出前講座を行った。(出前講座7回) その他、下記の取組みを継続して実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「こどもスマイルステーション」の設置 「長良川を美しくしよう運動」への参加 岐阜ファミリーパーク及びその周辺の清掃活動 自主的な川原の清掃活動 <p>・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <p>(IV-(1)・IV-(4)・IV-(5)・IV-(6)・IV-(7)・IV-(8))</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙がっていないと判断されるため「B」評価とする。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒今期は5回、人権研修を実施した。また、研修にとどまらず、普段から人権に関する意見を出し合い、幅広い層に対応したプログラムを開発したり、個別の対応を充実させたりするなど人権課題を幅広く捉えた取組みを行った。 <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <p>(IV)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安定性・安全性」については、指定管理者の人権に関する取組みなど評価できるが、今後の対応を見定めてから評価するという所管課の考えも理解でき、評価が難しい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒上記のように人権に関する取組みを行い、信頼回復に努めた。 この施設は児童生徒の利用が多いため、スタッフの採用は慎重にしてほしい。人の問題は大切であり、自然の中でいろいろなプログラムを実施するには、現場の人間に頼らざるを得ない。今後も評価が上がるような対応をお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒公正な採用システムを確立するため、公正採用ガイドラインを作成し、これに基づいて対応することとした。また、職員の専門性を十分に生かしながら、支援・指導の充実を図り、大変高い評価を得ることができた。(「職員の対応」満足度99.4%) 評価と共に、市の具体的な意見を指定管理者に示すと今後の取組みにプラスになるのではないかと。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒青少年教育課より「コンパス・キューブ」の考え方と、それに基づいた事業展開を具体的に示していただき、子どもたちが「コンパス・キューブ」の体積をバランスよく大きくするために、仲間とともに主体的・協働的に学ぶ「アクティブラーニング」の充実を念頭に置いて、各事業を展開した。
<p>今後の取組み</p>	<p>(II-(1))</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほほえみ、なかま、自然」の3つの願いを大切に施設運営を行うため、ゆとりをもったプログラムづくりを推進する。 受け入れ事業及び主催事業における目標:3つの願いの達成度92%以上 <p>(II-(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者や大学生などを対象とした「自然体験活動実技研修会」や公園利用者を対象とした「自然体験ミニイベント」を実施することで、冬季の利用者拡大を図る。 <p>(III-(3)) (III-(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者のサービスを低下することなく、コストの削減を図るため、比較的大規模な環境整備も自前で実施していく。 <p>(IV-(8)) (V-(2))</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学館、ドリームシアター岐阜、青少年会館等、市内公共施設と連携し、共催事業、事業協力、出前講座を積極的に実施する。

●所管課の意見

○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取り組みに対する自己評価」について

・「Ⅰ－(1)・(2)・(3)・(4)、Ⅱ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)、Ⅲ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)、Ⅳ－(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)、

Ⅴ－(1)・(2)・(3)・(4)」について、

「指定管理者の取り組みに対する自己評価」のとおりとする。

・Ⅴ－(5)について

地元で実施される社会活動等について、H28上半期では、非常に際立って大きいとは判断できないため「S」評価とする。

●指定管理者評価委員会の意見

・食堂の食事について、他の項目と比べて毎回評価が低いので、新しい取り組みができれば良い。

・出前講座について、魅力ある企画を考え、実績増に努めてもらいたい。